

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.26)No.	1161	(H.25)No.	1161
-----------	------	-----------	------

事務事業名	放課後子ども支援事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	文化生涯学習室	吉岡 昌行	

会計区分	事業コード	501101
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	放課後子ども支援事業	
項 社会教育費	(小事業名)	
目 社会教育総務費	放課後子ども支援事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐくむ教育の充実
	施策	2	青少年健全育成
	小施策	1	社会参加活動の促進
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を推進します。
事業内容
各小学校区単位(地域づくり単位)で、放課後子ども教室を開催します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.25年度(事業量・取組実績)	H.26年度(事業量・取組計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	24年度に引続きの4小学校区で放課後子ども教室を実施しました。26年度より新たな教室の開設に向け、地域との調整等を行いました。	地域づくり組織等による放課後子ども教室を実施。26年度は新たに桔梗が丘地区の3小学校区と錦生地区での実施を予定しています。このことにより、6地区8小学校区での実施となります。	地域づくり組織等により放課後子ども教室を実施 新規の教室を開設できるよう取組みます	地域づくり組織等により放課後子ども教室を実施	地域づくり組織等により放課後子ども教室を実施 新規の教室を開設できるよう取組みます

	H.25年度(決算見込)	H.26年度(作成時予算額)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)
①直接事業費	733千円	1,496千円	1,690千円	1,690千円	1,890千円
内訳(千円)					
国・県支出金	470	997	1,126	1,126	1,254
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 263	499	564	564	636
人工数					
職員	0.42人	0.20人	0.20人	0.20人	0.20人
臨時職員等		0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
②概算人件費	(0千円) 3,192千円	1,690千円	1,690千円	1,690千円	1,690千円
①+②総事業費	(0千円) 3,925千円	3,186千円	3,380千円	3,380千円	3,580千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.25年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
4校区で実施し、各地域とも多様な活動プログラムにより、子どもの居場所づくりと健全育成を図っており、つづいて桔梗が丘地区の3小学校区と錦生地区での実施に向けて地域との調整を行いました。	地域やコーディネーターへの負担が増大しないよう配慮しながら、他団体とも協力し子どもの体験活動の機会を増やしていきます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	学校、家庭、地域をつなぐ子どものための活動拠点であり、三者が一体となって子育て(健全育成)を行う環境づくりの取組として施策達成に貢献しています。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	事業の実施主体は、地域づくり組織であり、活発で多様な内容の事業に取り組んでいます。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 ・名張市子ども教育ビジョン ・名張市次世代育成支援行動計画
より多くの小学校区で実施されるよう、各地域で説明会を実施するなど普及啓発に努めます。	